

# 平成30年度学校評価書

学校名	北海道静内高等学校
-----	-----------

組織名	学校評議員会
-----	--------

## 1 本年度の重点目標

(1) 自らを律し、学習や部活動等に意欲的に取り組み、目標に向かって努力を惜しまない態度を育む。
(2) 地域と十分連携を図り、基本的な生活習慣を確立し、思いやりのある心豊かな人格の育成を図る。
(3) 次代を担う有為な人材を確保するため、生徒一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を継続する。

評 価 者
学校評議員 5 名 ( P T A 役員 1 名を含む )

## 2 自己評価結果

評価項目・指標等			達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方策の適切さ
大項目	中項目	小項目						
学習指導	創意工夫した授業改善による学習指導の充実をはかる。	(指標) 授業への興味・関心の高まった科目100%となること。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらなる授業改善を進める。</li> <li>教材研究を充実させる。</li> <li>SCRUM事業を活用する。</li> <li>公開授業を工夫する。</li> </ul>	A	A	A
		(指標) 前年度より家庭学習時間の増加した生徒が80%以上であること。	C	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の必要性を生徒に自覚させる。保護者にも理解を求める。</li> <li>家庭学習用課題の工夫をする。</li> </ul>	A	A	A
学校関係者の意見等	<p>○家庭学習の定着化は、小・中・高が一体となり、そして保護者、町ぐるみで行っていくと成果が出ると思う。</p> <p>○実態調査により、表現力や行動力の育成についての重要性が見える。注力してほしい。</p> <p>○保護者も含め、地域の理解を得ながら、学校の教育活動に対する支援体制を作っていければと考えている。</p>							
生徒指導	「いじめ」のない環境づくりを推進する。	(指標) 生徒による「いじめ」防止のための取組を3回以上実施すること。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段の会話で使用する言葉の質にも目を配る。</li> <li>教員研修を行う。</li> <li>未然防止の啓発を一層進める。</li> </ul>	A	A	A
		(指標) 生徒の自己指導力評価が、4.5以上になること。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒各自が自分に足りていない項目に気づくよう指導する。</li> <li>相互指導力に発展させたい。</li> </ul>	A	A	A
学校関係者の意見等	<p>○基本的な生活習慣の確立、不登校やいじめへの対策、指導等は家庭との共通理解を図りながら、指導の継続を行ってほしい。</p> <p>○いじめの防止に向けた取組を工夫しながらも継続して子どもたちが安心して学べる学校であってほしい。</p> <p>○地域の児童生徒の集まりの中ではリーダーシップを発揮する静内高校生の姿を目にして誇らしく感じている。</p>							
進路指導	効果的進路指導とキャリア教育を推進する。	(指標) 進路第一希望決定者が80%以上となること。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路活動への充実感、納得感を100%に引き上げる。</li> <li>生徒個々に応じたきめ細やかな進路指導を継続する。</li> </ul>	A	A	A
		(指標) 積極的な進路情報の提供と共有化を行う。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級通信との連携を深める。</li> <li>生徒の自己評価と客観的評価の差を見つけ、改善につなげる指導をする。</li> </ul>	A	A	A
学校関係者の意見等	<p>○効果的できめ細かな進路指導を展開していることがわかります。成果をあげていると思う。</p> <p>○進路実績や部活動の活躍などを見ても、先生方の取組の高さは十分に評価できる。</p> <p>○説明のあった働き方改革の趣旨はわかるが、部活動で得る達成感や人間関係などは決して小さくない。良さを失わない改革を望む。</p> <p>○教員集団のまとまりが一層大切になってくると思う。</p> <p>○生徒の読解力の向上を望む。</p> <p>○教職員の生徒への対応の共有化、部活動の有効活用を望む。</p>							